

昭和

議会だより

第

84

号

平成29年4月15日 3月定例会

<群馬県昭和村議会>

村民芸能祭

主催 昭和村文化協会

後援 昭和村教育委員会・昭和村公民館



Contents

4～9 3月定例会

10～11 村の姿勢を問う

13 あの問題は今

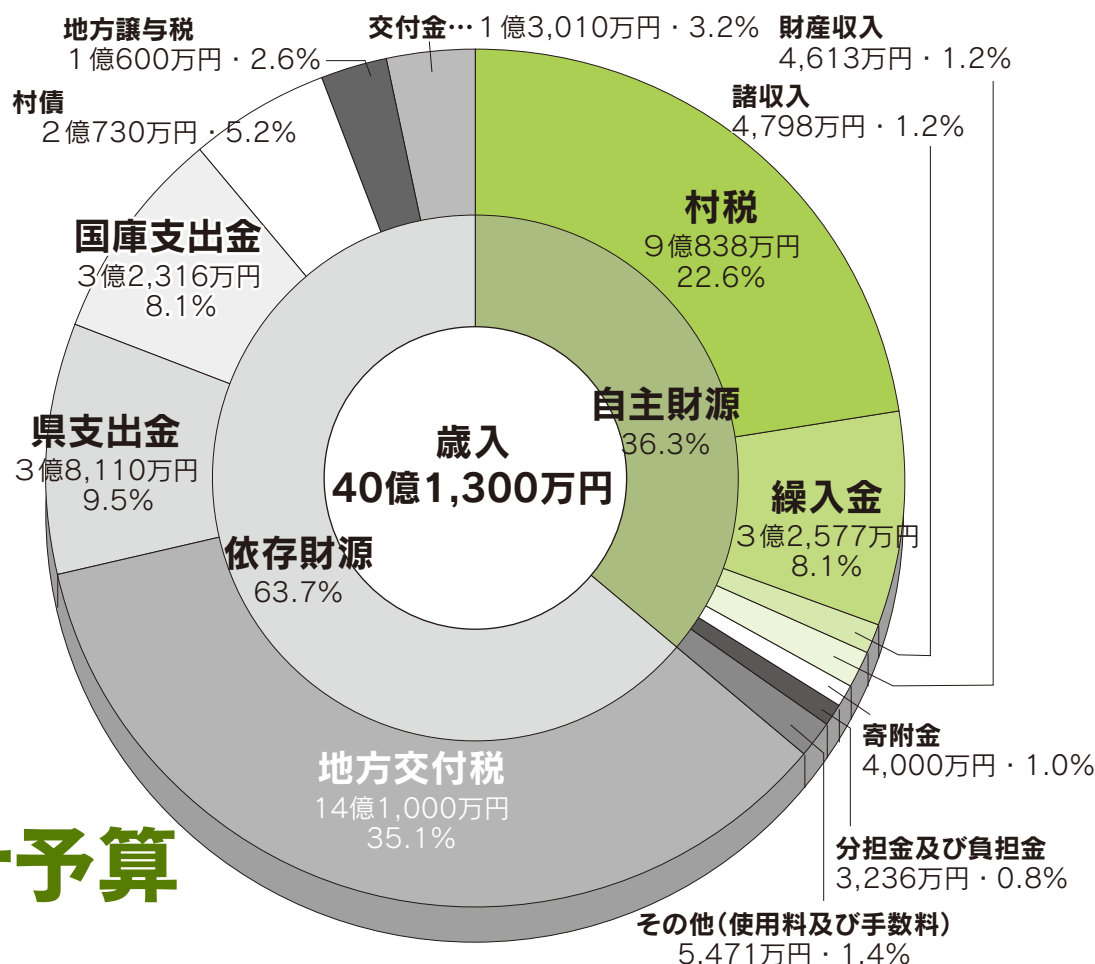
14～15 みんなの声

できる村づくり

予算額については、万円未満を四捨五入したため、必ずしも合計額と一致しておりません。

歳入

村税は、個人住民税及び法人税がともに減収の見込みから、前年度比15%の減収。地方交付税・国庫支出金などは、前年度比6.2%の増となりました。歳入総額に占める自主財源の割合は36.3%、依存財源は63.7%です。また、基金からの繰入金は、3億2,577万円増で19.9%の増。村債は、昭和中学校体育館屋根修繕等に2億7,300万円での予算を可決しました。



計予算

予算総額 **65億8,281万円**

特別会計予算

(前年度比0.6%減)

総額 **25億6,981万円**

国民健康保険特別会計	13億3,265万円	(▲50万円減)
簡易水道事業特別会計	1億2,369万円	(▲410万円減)
農業集落排水事業特別会計	3億1,358万円	(▲4,065万円減)
介護保険特別会計	7億2,042万円	(2,939万円増)
後期高齢者医療特別会計	7,947万円	(82万円増)

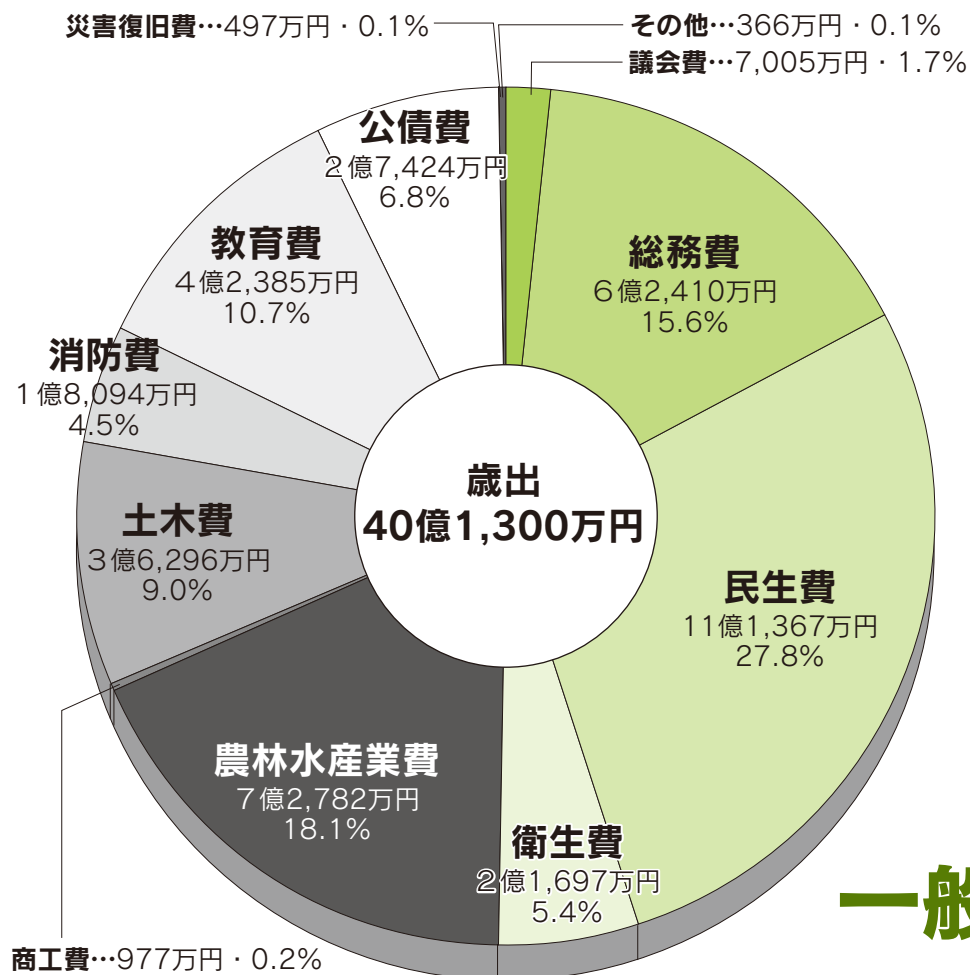
(カッコ内の数字は前年度比)

平成29年度 予算

だれもが安心

歳出

財政健全化へ着実に取り組みを進めるとともに、道路や施設の長寿命化、だれもが安心できる村づくりを目指します。住民生活の安心・安全・子育てや生活の環境の向上を目指し、長期的な視野に立った施策です。土曜学習、子育て支援施設環境整備、道の駅「あぐりーむ昭和」の株式会社化に向け、新たな事業を行うことを承認しました。



一般会

平成29年度重点事業

☆=新規・一部拡充事業
★=継続事業

- ★緑の大地ふるさとしょうわ特産品返礼事業 2,457万円
- ☆庁舎耐震化検討事業 24万円
- ★子育て支援助成事業 1,226万円
- ☆土曜学習・昭和未来塾事業 215万円
- ☆昭和中学校体育館改修工事 6,062万円
- ★道路維持補修事業 1億9,399万円

- ☆福祉センター長寿命化環境改善事業 1,205万円
- ☆道の駅「あぐりーむ昭和」管理事業 1,444万円
- ★しょうわの農業基盤づくり支援事業 3,102万円
- ☆雨量監視システム構築事業 607万円

3月定例会

3月定例会は、3月7日から17日までの11日間の会期で開催されました。承認1件、議案23件、発議2件が提出され、いずれも原案のとおり可決しました。

また、一般質問では2人の議員が村の姿勢を問いました。

専決処分

平成28年度一般会計補正予算(第7号)

4233万3千円を追加
総額

44億5178万3千円

緑の大地ふるさとしょう
わ特産品返礼事業等。

条例改正

特別職の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する
条例の一部改正

農業委員会委員の報酬は
能率給として、予算の範囲

内で村長が定める額とする。

職員の給与に関する条例の
一部改正

引用条項の条ずれが生じ
たことによる改正。

税条例の一部改正

地方税法の一部が改正さ
れたことにより、個人住民
税における住宅ローン減税
措置、軽自動車税における
グリーン化特例の適用の延
長等。

介護保険条例の一部改正

介護保険料の減額制度の

見直しによる改正。

小口資金融資促進条例の一
部改正

融資期間の延長の特例措
置や借換条件の緩和等。

道の駅条例の一部改正

道の駅あぐりーむ昭和の
管理運営を指定管理者が行
う等。

昭和の森の設置及び管理に
関する条例の一部改正

昭和の森山荘の洋室2部
屋、和室2部屋をウェルカ
ムベビーのお宿として認



ウェルカムベビーのお宿に認定された洋室



ウェルカムベビーのお宿に認定された和室

定、宿泊料金の一部改定等。

その他

村道路線の廃止について

路線の起点と終点に変更が生じた桂坂板戸線外14路線の廃止。

村道路線の認定について

路線の起点と終点に変更が生じた桂坂板戸線外20路線の認定。

公の施設（道の駅あぐりーむ昭和）の指定管理者の指定について

指定管理者を「株式会社あぐりーむ昭和」とする。

公の施設（農産物加工所「飛躍」）の指定管理者の指定について

指定管理者を「さくら工房」とする。

補正予算

平成28年度一般会計補正予算（第8号）

1億3647万円を追加
総額

45億8825万3千円
自動車取得税交付金634万9千円、特別交付税2776万2千円などを増額。

平成28年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

3413万1千円を減額
総額

14億2092万9千円
療養給付費等負担金1143万6千円、財政調整基金交付金2684万5千円などを減額。

平成28年度簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）

515万7千円を減額
総額

1億3050万円
使用水量の大幅な減少に伴う減額。

平成28年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

2738万9千円を減額
総額

3億2683万8千円
浄化槽設置事業費や戸別浄化槽管理費などを減額。

平成28年度介護保険特別会計補正予算（第3号）

123万3千円を減額
総額

7億8283万9千円
ケア輸送サービスの利用者数の減少などによる減額。

平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

24万1千円を減額
総額

7833万7千円
特定健康診査委託料などを減額。

発議

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

国民の幅広い政治参加や人材確保へつなげるために「厚生年金制度への加入のための法整備」の実現を求める意見書を内閣総理大臣などへ提出する。

若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書

「高齢者が安心・安全・

健康で暮らせる社会」の実現、年金制度への信頼を低下させないために「支給開始年齢をこれ以上引き下げ

ないこと」などを求める意見書を内閣総理大臣などへ提出する。



道の駅「あぐりーむ昭和」

総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

総務民生常任委員会を開催し、付託案件を審査。

「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書」を審査

町村では議員への立候補者が減少し、地方議員のなり手不足が大きな問題となっています。

地方議員の年金制度を時代に相応しいものにするこ
とが、議員を志す新たな人材確保につながっていくと考え、厚生年金制度への加入のための法整備を早急に実現するよう求めるべき、とのことから、全会一致で採択。

「若者も高齢者も安心して
きる年金制度の実現を求
める請願」を審査

公的年金は、繰り返される支給額の削減などにより、多くの高齢者の生活に深刻な影響を及ぼしております。

高齢者だけの問題ではなく、若者たち将来の年金生活者にとっても不安を広げております。こうしたことから、高齢者が安心・安全・健康で暮らせる社会の実現のため、「若者も高齢者も

安心できる年金制度の実現を求めるべき」であることなどから、全会一致で採択。

予算案を慎重審議

付託された平成29年度予算案では、「ふるさと納税に係る特産品返礼事業」をはじめ、「行政区管理運営事業」、「昭和の施設設管理事業」、「庁舎耐震化検討事業」等が予定されております。また、子育て応援や、健康福祉事業なども予算計上されています。

採決を行った結果、原案どおり可決すべきものと決定しました。

その他、各般にわたり質疑や意見交換を行いました。



第一保育園入園式



保健センターで乳児健診

文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水等に関する事項を所管

請願書2件、陳情書1件を審議

下宿区長より提出され、12月定例会より継続審議となっていた「**道路拡張に関する請願書**」を審査。

現状道路を拡幅する案は地権者の同意が得られず、新設図面、同意書が提出された。建設費と利用度が焦点になり、もう一度拡幅する案で地元協議をという意見もあったが、審議の結果、賛成多数で採択。

森下鎌沢区長より提出された「**遍照寺西側の大森神社に続く坂道の脇にある雑木林の伐採のお願い**」を審査。

地域住民の生活道路として利用されているが、雑木、竹等が道路脇まで生え、道路に倒れてくるなど通行に支障をきたしているので、道沿いの木や竹だけを抜き取り伐採してほしいとの要望。

- ・近隣には所有者自身で対応している土地がある。
- ・多面的機能支払交付金事業等に対応している地区があり、当該地区もその事業の実施地区である。

以上のことから、もう一度地元で協議をお願いしたいという意見が多く審議の結果、賛成多数で継続審査。

追分区長より提出された「**通学路における危険箇所の整備改修工事及び溝蓋敷設工事の陳情**」を審査。

村道古宮追分線は主要幹線道路であり、大型車両の通行が多い道路である。また、通学路にもなっているが、両脇の側溝に蓋がない箇所があり、歩行者、通学児童が車両往来時に身を守る際、足を踏み外す等の危険性が高い。過去に足を踏



陳情箇所の確認(追分地区)

平成29年度予算付託案件を審査。全会一致で原案通り可決すべきものと決定 一般会計予算の歳出のうち

	歳出	前年比	主なもの
4款2項環境衛生費	1億845万1千円	3,293万5千円減	水道料値上のため特別会計へ繰り出し等
6款農林水産業費	7億2,782万4千円	1,423万5千円増	赤城北ろく改善事業等
7款商工費	976万9千円	76万1千円増	創業支援事業補助金等
8款土木費	3億6,295万5千円	7,298万4千円増	道路、橋梁補修維持費等
10款教育費	4億2,384万8千円	7,208万4千円増	中学校体育館改修、小中体育館トイレ改修 土曜学習事業、子ども未来塾等
11款災害復旧費	496万9千円	14万9千円減	使うことが無いようにしたいですね！

み外し落下する事故もあったと聞き、安全第一として全会一致で採択。
現地調査を踏まえ雨水等の適切な対応を講じるよう当局に要請した。

提出された議案等と賛否一覧

※○は賛成 ●は反対 ※議長は、採決に加わらない。		林祐司	藤井貞充	藤井照明	高橋隆雄	永井一行	横坂末吉	加藤美昭	高橋昇三	藤井富夫	林幸司	兵藤喜孝	加藤生
第1回定例会(平成29年3月7日～17日)													
承認第1号	専決処分事項の承認を求めることについて(平成28年度一般会計補正予算(第7号))	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—
議案第1号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—
議案第2号	職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—
議案第3号	税条例の一部改正	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—
議案第4号	介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—
議案第5号	小口資金融資促進条例の一部改正	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—
議案第6号	道の駅条例の一部改正	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—
議案第7号	昭和の森設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—
議案第8号	村道路線の廃止について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—
議案第9号	村道路線の認定について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—
議案第10号	昭和村公の施設(道の駅めぐりーむ昭和)の指定管理者の指定について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—
議案第11号	昭和村公の施設(昭和村農産物加工所「飛躍」)の指定管理者の指定について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—
議案第12号	平成28年度一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—
議案第13号	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—
議案第14号	平成28年度簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—
議案第15号	平成28年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—
議案第16号	平成28年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—
議案第17号	平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—
議案第18号	平成29年度一般会計予算	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○	—
議案第19号	平成29年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○	—
議案第20号	平成29年度簡易水道事業特別会計予算	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○	—
議案第21号	平成29年度農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—
議案第22号	平成29年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○	—
議案第23号	平成29年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	—	○	○	○	○	●	○	—
発議第1号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—
発議第2号	若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書について	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—

議会全員協議会

3月定例会中の全協での協議事項は、以下のとおり。

1月27日

●昭和の森の経営状況について
ゴルフ場、山荘の利用状況について報告を受ける。

●地域創生加速化交付金事業について
料理レシピコンテストの開催などミキハウス子育て総研との連携事業を実施。また、子育て支援のウェブサイトを作成。

●ふるさと納税事業について
農産物等の人気が高く寄付額が増加する見込みとの報告があった。

●道の駅「あぐりーむ昭和」について
回廊の中庭整備について設計内容の説明を受ける。

●昭和の湯ポンプについて
モーターの故障によるポンプの停止、修理につ

いての報告・説明を受ける。

2月24日

●道の駅「あぐりーむ昭和」の指定管理について
株式会社を発足。代表取締役が就任！

●交流自治体在住者の優待サービスについて
横浜市、取手市、玉村町に居住する市民または町民の方は、村内施設使用料を村民料金とする。

●別荘地への路線バスの乗り入れについて
昭和の森山荘にバス停を設け、4月1日から路線バスの運行がスタートした。

3月10日

●強い農業づくり交付金事業の繰越明許について
豪雪の影響により工事期間が延長することに伴う交付金の繰越し。

●公共施設管理計画の策定について
既存公共施設の改修・更新に向けて維持管理・償却等を円滑に行うための計画を策定。

●認知症初期集中支援推進事業実施要綱の制定について
「認知症初期集中支援チーム」を配置し、認知症の早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築。

●介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱・指定事業者の指定に関する要綱の制定について
65歳以上の全ての方を対象に始まる新しい総合事業で、「65歳以上の全ての方が利用できる一般介護予防事業」と要支援1・2の認定を受けた方や基本チェックリストにより該当になった方が利用できる「介護予防・日常生活支援サービス事業」がある。

みなさんからの請願・陳情

自 平成28年11月4日 至 平成29年2月22日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員名	付託委員会	審議結果
37	H28.11.4	村道上野関屋線の道路拡張に関する請願(下宿地区)	下宿区長 関上 修	加藤美昭	文教産建	採択
40	H28.12.16	請願書 遍照寺西側の大森神社に続く坂道の脇にある雑木林の伐採のお願い(鎌沢地区)	森下鎌沢区長 三井田正夫	兵藤喜孝	文教産建	継続審査
41	H29.1.30	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について	前橋市元総社町 群馬県町村議会議長会 会長 金井 佐則		総務民生	採択 (意見書提出)
42	H29.2.22 (郵送)	平成29年度「給与所得等に係る市町村民税・道府県民税特別徴収税額の決定・変更通知書(特別徴収義務者用)」への個人番号記載の中止を求める陳情書	前橋市片貝町 群馬県保険医協会 会長 木村 康			配布のみ
43	H29.2.22	若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める請願書	沼田市上沼須町 全日本年金者組合群馬県本部 利根支部支部長 林 マツ	林 幸司	総務民生	採択 (意見書提出)
44	H29.2.22	陳情書 通学路における危険個所の整備改修工事及び溝蓋敷設工事の陳情(追分地区)	追分区長 岡田 政行		文教産建	採択

畑灌の漏水対策について



藤井 貞充 議員

市長 漏水37件、修繕費800万円



根利川頭首工

問

赤城西ろく土地改良区の受益地域で、最近漏水事故が多く発生している。冬の工事だったため、のり付けが不十分だった所があるものと思われる。

開閉バルブのワンタッチレバーの使用により、ウォーターハンマーが起き、漏水による補修工事が発生していると聞か

答 村 長

状況を伺いたい。

漏水について現在まで37件対応し、修繕費は800万円強支出していると把握しています。

次に急激な内圧を受けることによる漏水の原因では、本管に設置している制水弁の開閉時、特に漏水修理後の通水時に時

問

大同特殊鋼の有害スラグについて、

村内では7ヶ所で確認されていると説明を受けた。環境や水源が汚されたは大変だ。

また、昨年末に前橋地検で産廃処理法違反容疑で書類送検された大同特殊鋼や親会社とその幹部ら5人は容疑不十分で不起訴処分になったと新聞で読んだ。その後、大同特殊鋼の対応に変化があったか伺う。

有害スラグ対策は

答 村 長

現在の状況は基本協定の締結に向け、協議中となっています。

次に環境調査は大同特殊鋼の調査により、村内7ヶ所の内、1ヶ所は調査済みで残り6ヶ所は大同特殊鋼と調査会社で業務計画書を策定し、個別協議書の締結に向け、環境調査を実施する予定です。

また、第7分団の詰所駐車場のスラグ撤去も協議中であります。次に不起訴処分後の大同特殊鋼の対応ですが、判決前と同様、真摯に対応して頂いております。

間をかけて制水弁を開けないとウォーターハンマーやエアハンマーの事故につながるのとことです。

また、ワンタッチレバーの使用を禁止しています。



林 幸司 議員

給付制など 村奨学金制度の拡充を

教育長 財政面も含め情報収集に努め
研究してまいりたい

問

日本の学費は世界一高く、半数の学生が奨学金を借り、平均300万円の借金を背負う卒業は、先進国でも異常。

答

教育長

給付制を含め大学等への奨学金制度の実施と、高校教科書代、通学費等への補助を求める。

高校のみ年額13万2千円3年間無利子ですが、利用者がなく、金額や制度の見直しが必要です。新たに大学等への制度創設、返済不要奨学金、高校補助も含め調査、研究、検討していきたいと考えています。

答

村長

若者への支援として、村へ戻るきっかけとなる制度構築が必要。人づくり、人口減少対策等、効果を含め政策課題として研究してまいりたいと思います。

利根沼田市町村の現状(年額換算貸与額)

	高 校	大学等
沼 田 市	24万円	60万円
みなかみ町	24万円	24万円
片 品 村	なし	54万円
川 場 村	60万円	なし
昭 和 村	13.2万円	なし

いじめは人権侵害・暴力です。現状と対策は

問

貧困と格差拡大、弱肉強食、競争教育などの反映でいじめが深刻化。現状と対策、対応組織、法の問題点を伺いたい。

答

教育長

今年度、小中3件ずつ認知し、深刻化前に改善。村と各学校でいじめ防止基本方針を定め、組織的に対応。児童生徒自ら実行し、いじめ防止子ども会議で発表しています。

問

国の支援を受けて都会から若者を受け入れる制度であり、県内でも40人が活躍している。村活性化策として事業を実施するよう求める。

答

村長

受け入れ体制や環境を整え、定住・就職支援も用意する必要があります。募集には至りませんでした。利根沼田でも10人が活躍、大変良い事業でもあります。研究・検討していきたいと思っています。

地域おこし協力隊の募集を



いじめ防止子ども会議

常任委員会で合同視察



飲料水の備蓄(取手市)



人工光によるリーフレタス栽培

2月7日、8日の2日間、総務民生常任委員会、文教産建常任委員会による合同研修会を実施。

茨城県取手市は、平成19年3月に、地域防災計画の見直しを行い、現在、災害時相互応援協定の締結先は、昭和村を含む8つの自治体と締結。なお、取手市内では88の自主防災会が組織され、組織率は80%以上。取手市議会災害対応規程を整備し、災害時の取手市議会議員の対応等も定めている。

農地が足りない昭和村農業の一助とするため、太陽光を利用したトマト工場や人工光を利用したリーフレタス、ほうれん草、小松菜等の水耕栽培工場がある千葉大学の「柏の葉キャンパス植物工場」を視察。異業種からの研究参加が多く見られたが、初期投入経費が莫大であり、収量、経費、栽培技術、販路等の課題がある。しかし、高品質、農業経費減、気象災害が無く安定生産が可能で、大都市近郊での経営により運賃がかからない等のメリットもあり、今後の動向に注視して行くべきと感じた。

高橋昇三議員が受賞



2月21日、群馬県町村議会議長会の定期総会において自治功労者の表彰が行われました。

本村議会では議会議員10年以上在職者として高橋昇三議員が受賞されました。

学校給食試食会

1月25日、給食センターで行われた給食試食会に議員全員で参加しました。



問

若い人たちが昭和村に定住し、人口の増加を図り活力ある村づくりを推進していくために昭和村若者定住促進新築住宅等取得助成事業を実施して頂きたい。

助成金額は概ね100万円を限度とし、45歳未満、住宅取得等に1千万円以上の費用を要し、床面積が280㎡以下であり、昭和村に住所を有し、地元自治会に加入するなどの条件を満たした方に交付。

答

定住化促進や人口増加を図る上で新築住宅への助成事業は非常に有効的な事業ではないかと考えておりましたので、調査研究をするように職員に指示をし、今後取り組んでいきたい。

その後

定住に伴う新築住宅建設補助金交付条例の制定

本村に定住するため、新たに住宅を建設する人に補助金を交付し、人口の増加を図ることを目的とする。

総床面積が50㎡以上200㎡未満であり、配偶者を有する世帯責任者の年齢が45歳以下であること。また、村税等に滞納がなく、10年以上定住すること等が要件である。

建設補助金(平成26年4月1日～平成31年3月31日)

①村内業者の施行による新築住宅の場合

100万円

②村外業者の施行による新築住宅の場合

80万円

(補助金の交付)

平成26年度 21件

平成27年度 14件

平成28年度 10件

合計 45件

この事業が人口の増加につながることを願うところであります。

〈問合せ〉

建設課整備係

☎24-5111



若い人の新築住宅取得に100万円の助成を

追跡
シリーズ

27

あの問題は



議員が行う提言などは、村政にどう反映されているのか。皆さんからの請願や陳情は議会採択後、どのように処理されているのか。その後の経過を追跡します。

(平成25年12月定例議会一般質問)



将来を担う子ども達のために

諸田 秀美さん



(永井上組)

昭和村に嫁いで20年以上経ちました。この間、子ども達は、村内の保育園・小中学校でお世話になり、今はそれぞれの将来に向かっていきます。

子ども達にとって、昭和村の自然の中で体験する行事は多々ありましたが、特に中学校の職場体験では、村当局と各事業所の方々の協力を得て、貴重な体験をさせて頂き、将来の目標を考える上で大変役立っていました。

今回は、4名の方に「議会に望むこと」について、その声を届けていただきました。

と思います。しかし、残念なことに都市部へ魅力を感じ、昭和村を離れてしまおう若者は少なくありません。

このような実態の中、教育のICT(※)化に伴い、多額の教育費を負担して頂いていますが、「教育は将来への投資」という考え方を重視して頂き、ありがたく思っております。将来、昭和村で育った子ども達が、自然豊かな暮らしの良さを思い出し、戻ってきてくれることを願っております。

(※)ICT…情報通信技術



新防災無線の改善のお願い

石井 隆志さん



(南内出)

昭和村議会の皆様には、日頃からより良い村づくりのために御尽力頂きありがとうございます。

「昭和村議会にのぞむこと」について書いて欲しいと頼まれ、何を書こうかと悩みましたが防災無線について書きたいと思います。

昨年3月30日より新防災無線の運用が開始されました。4月の道路愛護の時には、音が小さくなった、何を言っているのか分からない、聞こえない等の意見も耳にしました。

そこで新防災無線の改善として、屋外スピーカーの増設及び各地区集落センター等に設置した個別受信機の各戸無料配布をお願いします。

この個別受信機は再生ボ

タンがあり聞き逃した情報を何時でも何度でも聞き直すことが出来る優れたものです。

実現して頂けるようお願いいたします。



子ども達のために思うこと

大河原幸三さん



(滝久保)

私が昭和村に来て30年を過ぎ、一般の公務員や会社員なら定年を迎える歳です。近所の人たちやお客様に支えられ、今まで商売を続けることができました。

少し早いかもしれませんが、子ども達に何を残して

やれるかとか、子ども達の負担にならない様に老後はどうすれば良いかなど、つい考えてしまうようになりました。いつまでも健康でいられば良いですが、いずれは病気やケガなどで動くのが容易でない状態になることを考えると、いつかは子どもや福祉施設のお世話になるときがくると考えてしまいます。しかし、我々の年代はとも人口が多いと思われるので、福祉施設などの充実を考えれば莫大な税金が必要になり、子どもや孫への間接的な負担になることが気になります。

日本は借金大国でも、その借金のほとんどが日本国内での負債ということで、世界的には日本円は信頼性も高く、今は恩恵も色々と受けているようですが、国内の借金でも返済する必要があると思います。次世代を担う子どもや孫の負担にならないよう、税金の無駄は省いて頂くようお願いしたいと思っています。

参加しやすい消防団とは

林 充寛さん



(生越)

私は昭和村で農業を営んでおり、平成28年度は地元消防団の分団長を務めさせて頂きました。そして、その年の消防ポンプ操法競技会(小型の部)に出場し、県大会で優勝することができました。その際は村の皆様にご支援いただき、大変感謝しております。

消防団活動は仲間と一体になれる経験ができ、また災害時には地元を守る地域にとってなくてはならない組織です。しかし一方で、負担が大きいという意見もあります。以前、昭和村出身で村外に居住している人に、昭和村に住まないのかと聞いたところ「村に住んだら消防団に誘われ、入ったら何歳になっても辞められない。若いときは良いが

仕事も家庭も大変な4代になったら負担が大きい」という返事でした。大事な組織なのに、それが嫌で昭和村に住まない人が増えては先細りになってしまいます。確かに、人が少なく定数に足りない地域では、何歳になっても辞められず負担が大きいのが現状です。今後は少子化の現代に合わせた体制作り、例えば定年制にして足りない分は自警団で定数にする、または定数自体を見直すなど対応を考えていくことも組織存続のために必要かと思えます。



議会の動き

1月

- 25日 ●学校給食試食会
- 27日 ●中学生海外派遣推進委員会
- 議会全員協議会
- FMOZE賀詞交歓会

2月

- 5日 ●ピンポンフェスティバル
- 7～8日 ●議会視察研修(千葉県柏市・茨城県取手市)
- 9日 ●利根沼田地域県政懇談会
- 11日 ●スポーツ食育セミナー
- ウィンターフェスティバル2017
- 13日 ●定例議長会
- 広域圏議員協議会
- 学校組合議員協議会
- 15日 ●野菜料理レシピコンテスト審査会
- 18日 ●生涯学習大会
- 21日 ●県町村議会議長会定期総会
- 22日 ●国民健康保険運営協議会
- 23日 ●簡易水道運営協議会
- 議会運営委員会
- 24日 ●議会全員協議会
- 広域組合議会定例会

3月

- 学校組合議会定例会
- 沼田市外二箇村清掃施設組合議会定例会
- 1日 ●議会広報編集特別委員会
- 7日 ●第1回昭和村議会定例会
- 本会議(初日)
- 8日 ●議会全員協議会
- 9日 ●議会全員協議会
- 10日 ●議会全員協議会
- 12日 ●村民芸能祭
- 13日 ●昭和中学校卒業式
- 本会議(第2日)
- 14日 ●文教産建常任委員会
- 15日 ●総務民生常任委員会
- 17日 ●本会議(最終日)
- 21日 ●議会広報編集特別委員会
- 23日 ●東小学校・南小学校・大河原小学校卒業式
- 24日 ●商工会役員との意見交換会
- 25日 ●第一保育園・第二保育園・子育て保育園卒園式
- 29日 ●議会広報編集特別委員会
- 30日 ●家族経営協定調印式

4月

- 4日 ●議会広報編集特別委員会
- 5日 ●第一保育園・第二保育園・子育て保育園入園式
- 6日 ●玉村町議会との交流会(玉村町)
- 7日 ●昭和中学校入学式
- 東小学校・南小学校・大河原小学校入学式
- 22日 ●村の木「さくら」記念植樹



地域でがんばる人

川額上組育成会 前会長 唐澤 徹也さん



(宮貝戸)

私たち川額上組育成会は、川額八幡宮の夏祭りでの子ども御輿・夏休みの旅行・八幡宮豊年祭り・村のカルタ大会や卓球大会への参加など様々な活動をしています。中でも毎年9月28・29日に行われる川額八幡宮豊年祭りでは、中学生男子を中心に「つかまんど」で祭りを盛り上げます。

毎年8月に入るとまんどろ長のもとに集まり、子どもたちで武将やハチマキの色を決めて約2ヶ月かけてまんどろ作りをします。まんどろは心棒という木の柱に武将の人形を乗せて細い竹の棒で人形を守るように包み込みます。高さ3メートル、重さ50キロにもなるまんどろを中学生1人が担ぎ、上組、下組の2体のまんどろをぶつけ合います。とても激しくぶつけ合うので、子どもたちや周りで見ていてくださる方々にケガがないように育成会役員は細心の注意を払っています。

いざ出陣！

代々親から子へと伝えられている行事のひとつで毎年行われていますが、川額八幡会や婦人会、若妻会、そして地域の皆様のおかげで続けることができ、皆様のご協力に感謝しております。

子どもの数は年々減っていますが、伝統あるつかまんどろをこれから先も伝えていきたいと思っています。

春野菜とじゃくの白和え

春の健康レシピ

(昭和村管理栄養士 田中 梨紗)

材料(4人分)

アスパラ…100g、うど…100g、人参…50g、こんにゃく…100g、酢…大さじ1、【和え衣】厚揚げ…140g、
 ① 白すりごま…大さじ2、みそ…大さじ1(18g)、マヨネーズ…大さじ1.5(20g)

栄養価(1人分)

エネルギー：133kcal、塩分：0.6g

- ・具材の水気はしっかり切っておきましょう。
- ・和え衣に厚揚げを使うことで、豆腐の水切りが不要で、また厚揚げの風味で薄味でもおいしく食べられます。
- ・他の野菜にかえて、応用してみましょう。

作り方

- ①アスパラは斜め切りにする。うどは厚めに皮をむき、斜め切りにする。人参は3cm長さの少し太めの千切りにする。こんにゃくは短冊切りにし、塩もみしておく。
- ②鍋に湯を沸かし、酢大さじ1を入れ、うどをさっと茹でてざるに取り出し、冷ます。同様に同じ湯でアスパラ、人参、こんにゃくを順に茹でて、ざるにあけて冷ます。
- ③厚揚げは熱湯をかけ、すり鉢でよくすりつぶし、①を加えて混ぜ、和え衣をつくる。
- ④③の和え衣と、具材を混ぜ合わせる。



編集室から

今年の冬は降雪が多かったが大きな雪害もなく、一安心しました。雪解けも終わり、苺の出荷、レタスの定植、ほうれん草の播種、こんにゃくの地搾えと農作業の繁忙期となりました。また、卒業、入学、進学、新社会人となり、新たな出会いが始まります。

議会でも平成29年度予算も原案通り可決し、誰もが住み良い昭和村を目指しスタートしました。昨年度、防犯カメラを7ヶ所増やし、合計27ヶ所となり安心安全な村づくりを進めています。毎年何らかの災害が来ているような昨今ですが、今年こそ災害がなく平安な年でありますようお願いいたします。

横坂 末吉 記

議会広報編集特別委員会

委員長 藤井 貞充

副委員長 高橋 隆雄

委員

永井 一行 横坂 末吉

林 祐司 藤井 照明

兵藤 喜孝 加藤 生